

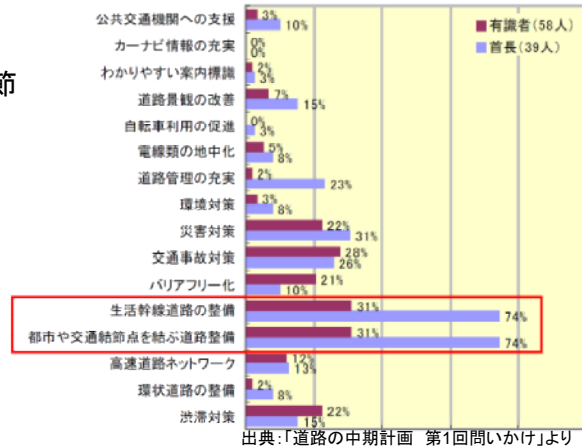
## 群馬県の現状

群馬県の人口当たりの自動車保有台数は全国1位(平成22年度末)であり、自動車への依存度は非常に高くなっています。また、主要都市周辺や幹線道路では、朝・夕の交通混雑のため、旅行速度が低下している状況です。

これらの交通問題により、経済活動等に多大なる支障をきたしていると考えられます。

## 県民の声

「優先度の高い施策」として、『都市や交通結節点を結ぶ道路整備』や、『生活幹線道路の整備』を望む声が多く挙げられています。



## 課題

交通の円滑化を図り、経済活動を支援する道路整備を推進する必要があります。

## 目的

バイパス整備や現道拡幅などの道路整備並びに道路の安全性向上、地域間交流、観光振興を目的とした関連事業を実施することにより、観光や物流機能の充実を図り、活力ある地域づくりに寄与する道路整備を行います。

## 事業の指標

## 指標1 群馬県民一人当たりの渋滞損失時間

$$\Sigma \{((\text{区間の距離}/\text{旅行速度}) - (\text{区間の距離}/\text{基準旅行速度})) \times \text{区間交通量} \times \text{車種別平均乗車人員} / \text{群馬県の人口}\} (\text{単位:時間/年})$$

## 指標2 高速道路ICへのアクセス性が向上した工業団地および工場適地数

$$\Sigma (\text{高速道路ICへの走行性改善等のアクセス性が向上した工業団地および工場適地数}) (\text{単位:箇所})$$

## 成果と達成度報告

渋滞で損失する時間が減りました！  
(群馬県民1人あたり年間約2時間減少！)

交通に便利な工業団地等が  
21箇所増えました！

## 指標1: 群馬県民1人あたりの渋滞損失時間

	目標	実績	増減
当初値(H21当初)		42.23時間/年	
中間値(H22末)	42.16時間/年	41.96時間/年	当初値より0.27時間/年 減少
目標値(H24末)	40.50時間/年	40.17時間/年	当初値より2.06時間/年 減少

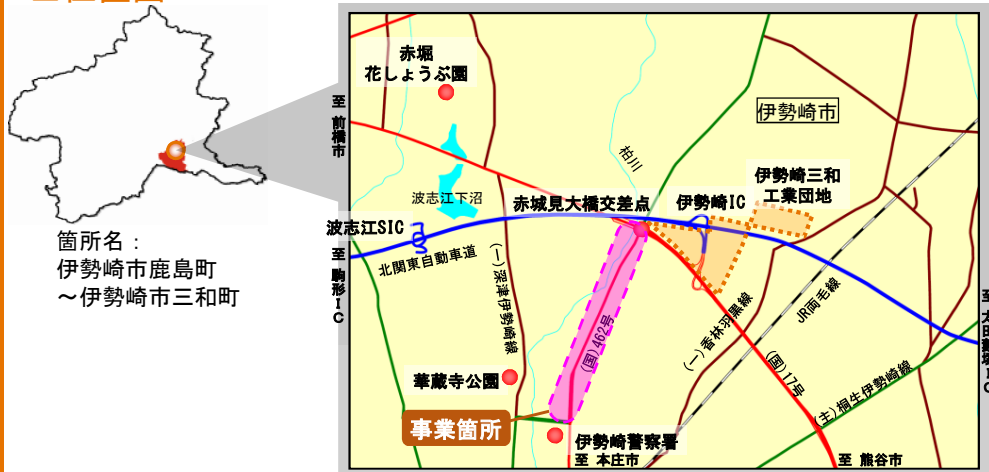
## 指標2: 高速道路ICアクセスが向上した工業団地および工業適地

	目標	実績	増減
当初値(H21当初)			
中間値(H22末)	7箇所	8箇所	8箇所の高速道路アクセスが向上
目標値(H24末)	13箇所	21箇所	21箇所の高速道路アクセスが向上

### 整備効果事例

#### 事例① 国道462号（本関拡幅） 道路拡幅

##### ■位置図



箇所名：  
伊勢崎市鹿島町  
～伊勢崎市三和町

##### ■整備効果



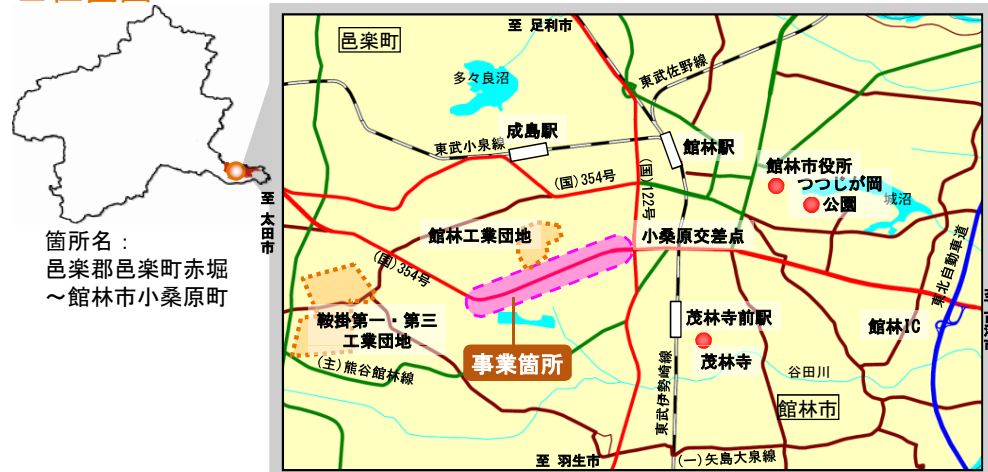
歩道・自転車道がなく交錯の危険性が高く移動時間にロスがある状態



道路を広く車道と歩道を分け、円滑で快適な空間を確保！

#### 事例② 国道354号（館林工区） バイパス4車線化

##### ■位置図



箇所名：  
邑楽郡邑楽町赤堀  
～館林市小桑原町

##### ■整備効果



2車線のため、車両が混雑している状況



4車線化で車の流れがスムーズ。観光にも物流にも効果が！